

農産物直売所への出荷者を募集

市では、「地産地消」の推進と地域農業の発展を目的に、農業ふれあいセンター敷地内に農産物直売所・食堂を開設します。



現在、十一月下旬のオープンに向けて、同直売所へのお荷者（野菜・花・果物・畜産物などの生産者）を募集しています。年間を通じて新鮮・安全でおいしい地場農産物が豊富にそろった、魅力ある直売所にするために、ぜひご協力ください。詳しくは、お尋ねください。お問い合わせ：農業ふれあいセンター・TEL226-6551

10月1日(土)は国勢調査



10月1日(土)、国勢調査がいよいよ始まります。

国勢調査は、国内に住んでいるすべての人を対象に、5年ごとに行っている統計調査です。

現在、国勢調査員が調査票を持って市民の皆さんの家庭に伺っています。もう、調査票は届きましたか？ 調査票には、10月1日(土)現在の世帯の状況を記入してください。

未来の豊かな暮らしのために、皆さんの調査票が生かされます。ご協力をお願いします。

調査票の提出について

記入した調査票は、国勢調査員が受け取りに伺います。調査票は、いっしょに配布される封筒に入れ、裏面のテープで封をして国勢調査員に渡すこともできます。この場合、調査票は封をしたまま市に提出されます。

問い合わせ…情報統計課統計係・TEL内線2264

不老川復活のために、できること

不老川は、東京都瑞穂町に源を発し、市内で新河岸川に合流する全長約18.5キロの河川です。狭山市北入曽あたりでは、「豆まきの晩にとしとらず川の橋の下で一晩過ごせば年を取らなくてすむ」という伝説があります。

現在の不老川は、近年の急激な都市化に伴い、大雨が降ると雨水が地面にしみ込み、川に流れ込んではんらんしてしまいます。また、雨水が地面にしみ込まないことが、雨の少ないときに水質の悪化を防ぐ、わき水の減少につながっています。

今、不老川は市民の皆さんの協力を必要としています。それが、雨水の「浸透」と「貯留」です。「浸透」は、乾いた大地に潤いを与え、地上の熱を調整し、都市型水害を抑えて、昔ながらの水循環を作ります。また、「貯留」で一時蓄えられた水は、庭木への散水や洗車などに、災害時には非常用水や防火用水としても利用できます。

不老川流域対策推進協議会（川越市・狭山市・所沢市・入間市・瑞穂町）では、浸透ます設置や雨水各戸貯留など、雨水の流出抑制を推進しています。

問い合わせ…河川課治水係・TEL内線3143

介護保険被保険者証が変わります

現在使用している介護保険被保険者証（若草色）の有効期限は、九月三十日(金)までです。十月一日(土)から、新しい被保険者証（レモン色）に変わります。新しい被保険者証は、第一号被保険者（六十五歳以上）と被保

険者証の交付を受けている第二号被保険者に発送しました。なお、新しい被保険者証は無期限で、今後更新しません。大切に保管してください。ただし、要支援・要介護認定を受けている方の認定の有効期間は、従来

どおりです。有効期限の過ぎた被保険者証は、介護保険課（本庁舎一階）または出張所・連絡所へ返却してください。問い合わせ：介護保険課保険料資格係・TEL内線2571

集団回収事業報償金の申請を受け付けます

七月一日から九月三十日(金)までに実施した集団回収実績に対する報償金交付申請書を受け付けます。提出忘れのないように、ご注意ください。

交付申請書（代表者に郵

送）・集団回収実施報告書
問い合わせ：環境業務課減量リサイクル推進係・TEL内線2635

もしものために「交通災害共済」

交通事故でけがをして、医師の治療を受けた会員に見舞金を支払う「川越市交通災害共済」。十月から来年三月までは、二百五十円で加入できます（共済期間は、加入日から来年三月三十一日（金）までです）。
もしもに備え、家族みんなで加入しましょう。

見舞金額：治療の期間および実日数に応じて、一万円～二十五万円（死亡は百万円）
申し込み：随時、総合交通政策課（本庁舎五階）または出張所・連絡所
問い合わせ：総合交通政策課交通安全指導係・TEL内線3264

放置自転車クリーンキャンペーンを実施

十月一日（土）から三十一日（月）まで、平成十七年度首都圏放置自転車クリーンキャンペーンを実施します。
放置自転車は、歩行者やお年寄り、身体の不自由な方の通行の妨げとなり、たいへん危険です。また、緊急自動車の活動にも支障を来します。自転車を利

用する際には、自転車駐車場など決められた場所に止めてください。
自転車利用のマナー向上と共に、放置自転車の撲滅にご協力をお願いします。
問い合わせ：総合交通政策課交通安全策係・TEL内線3263

川越シティカレッジ・東邦音楽大学オープンカレッジ講座

音楽療法基礎コース

～音楽が健康に及ぼす多面的な機能～

今回の講座は、東邦音楽大学の協力により、近年関心の高まっている音楽療法について考えてみようというものです。

音楽を聴いてリラックスする。すばらしい演奏に感動する。歌うことでストレスが発散される……。このような経験はありませんか？これらはいずれも、音楽が心身の健康に役立っている場面です。

「音楽療法」とは、先にあげたような、音楽が心身に及ぼす影響をより効果的に用いることで、病気の人や障害のある人に役立てていこうとするものです。

この講座では、音楽療法の分野において先駆的に活躍している実践家や研究者の皆さんが、音楽のさまざまな機能について、豊富な事例も交え、わかりやすく伝えていきます。

開催日	テーマ	講師
10月27日(木)	音楽療法とは何か ～イントロダクション～	東邦音楽大学専任講師 二俣泉さん
11月10日(木)	歌唱音楽療法 ～音楽療法における声～	東邦音楽大学特任助教授 青拓美さん
11月24日(木)	高齢者の音楽療法 ～お年寄りの健康と音楽療法～	東邦音楽大学専任講師 平田紀子さん
12月8日(木)	精神科の音楽療法 ～メンタルヘルスと音楽療法～	東邦音楽大学特任助教授 馬場存さん
12月22日(木)	聴取による音楽療法 ～聴取型音楽療法とは～	聖徳大学音楽文化学科教授 村井靖児さん

時間…午後6時30分～8時30分 会場…東邦音楽大学川越キャンパス（今泉・南古谷駅から徒歩10分）
定員…60人（抽せん・市外在住者も受講可）
受講料…3,000円（1回目の講義時に集金）
申し込み…10月7日（金）までに電話またはEメールで大学設置準備室（Eメールの場合は、住所・氏名・ふりがな・性別・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレスを明記）

問い合わせ…大学設置準備室大学設置準備担当・TEL内線2171▶Eメール=daigakujunbi@city.kawagoe.saitama.jp



9月9日の午前中、川越駅東口から富士見町へ向かって歩きました。仙波小学校近くの交差点の歩道に、空を見上げる子どもの像がありました。その像が見つめる先は、日差しをさえぎる雲。暑さが和らぎ、街路樹を揺らす風が心地よく感じられます。晴れてほしいと願いを込めて見上げているのか、それとも過ぎていった夏を惜しんでいるのか、そんな表情に見えました。

